



Sun StorEdge™ N8600 Filer ご使用にあたって

サン・マイクロシステムズ株式会社
東京都世田谷区用賀 4丁目 10番 1号
SBS タワー 〒158-8633

Part No. 806-7831-10
Revision A, 2001年4月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape, Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典：	Sun StorEdge N8600 Filer Release Notes Part No: 806-6892-10 Revision A
-----	--

©2001 by Sun Microsystems, Inc. 901 SAN ANTONIO ROAD, PALO ALTO CA 94303-4900. All rights reserved.



Sun StorEdge N8600 Filer ご使用にあたって

このマニュアルでは、出版された製品マニュアルには含めることができなかった、Sun StorEdge N8600 Filer に関する重要な情報について説明します。

このマニュアルをよく読み、Sun StorEdge N8600 Filer のインストールおよび操作に影響する問題または要件を確認してください。このマニュアルは、『Sun StorEdge N8600 Filer インストール・設定・保守マニュアル』および『Sun StorEdge N8400/N8600 Filer 管理者マニュアル』の情報を補足しています。このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 2 ページの「関連マニュアル」
- 2 ページの「Sun のオンラインマニュアルへのアクセス」
- 3 ページの「システムの起動」
- 3 ページの「Sun StorEdge T3 ディスクトレイの修復についての注意」
- 5 ページの「システムのインストールについての注意」
 - 5 ページの「Sun StorEdge T3 ディスクトレイの LAN 接続の設定」
 - 11 ページの「監視用のディスクトレイの設定」
- 13 ページの「正誤表」
 - 13 ページの「Sun StorEdge Component Manager」
 - 13 ページの「netstat コマンド」

関連マニュアル

マニュアル名	Part No.
『Sun StorEdge N8600 Filer インストール・設定・保守マニュアル』	806-7816
『Sun StorEdge N8400/N8600 Filer 管理者マニュアル』	806-7795

Sun のオンラインマニュアルへのアクセス

Webサイト www.sun.comSM では、Sun のオンラインマニュアルを参照できます。

1. ご使用のブラウザで、Sun StorEdge N8400 Filer および N8600 Filer の製品マニュアルにアクセスします。

<http://www.sun.com>

2. 「Products & Solutions」を選択します。
3. 「Hardware」で「Documentation」を選択します。
4. 「Product Documentation」で「Network Storage Solutions」を選択します。
5. 「Product Documentation」で「Network Attached Storage (NAS)」を選択します。

システムの起動

注 – マシンの電源を入れる順番は、非常に重要です。

1. Sun StorEdge T3 ディスクトレイの電源を入れ、完全に起動するまで待ちます。
8 分間待ちます。できれば、ディスクトレイの背面パネルの LED が、点滅から点灯に変わり、動作可能な状態であることを確認してください。
2. Sun StorEdge 4500 サーバーの電源を入れます。
サーバーが起動すると、システムの準備が完了します。構成に関する質問への回答を求めるプロンプトが表示されます。『Sun StorEdge N8600 Filer インストール・設定・保守マニュアル』を参照してください。

Sun StorEdge T3 ディスクトレイの修復についての注意

電源が投入されているディスクトレイからディスクドライブを取り外す場合、30 分以内に新しいドライブを取り付けてください。30 分を過ぎると、ディスクトレイの電源が自動的に切断されます。

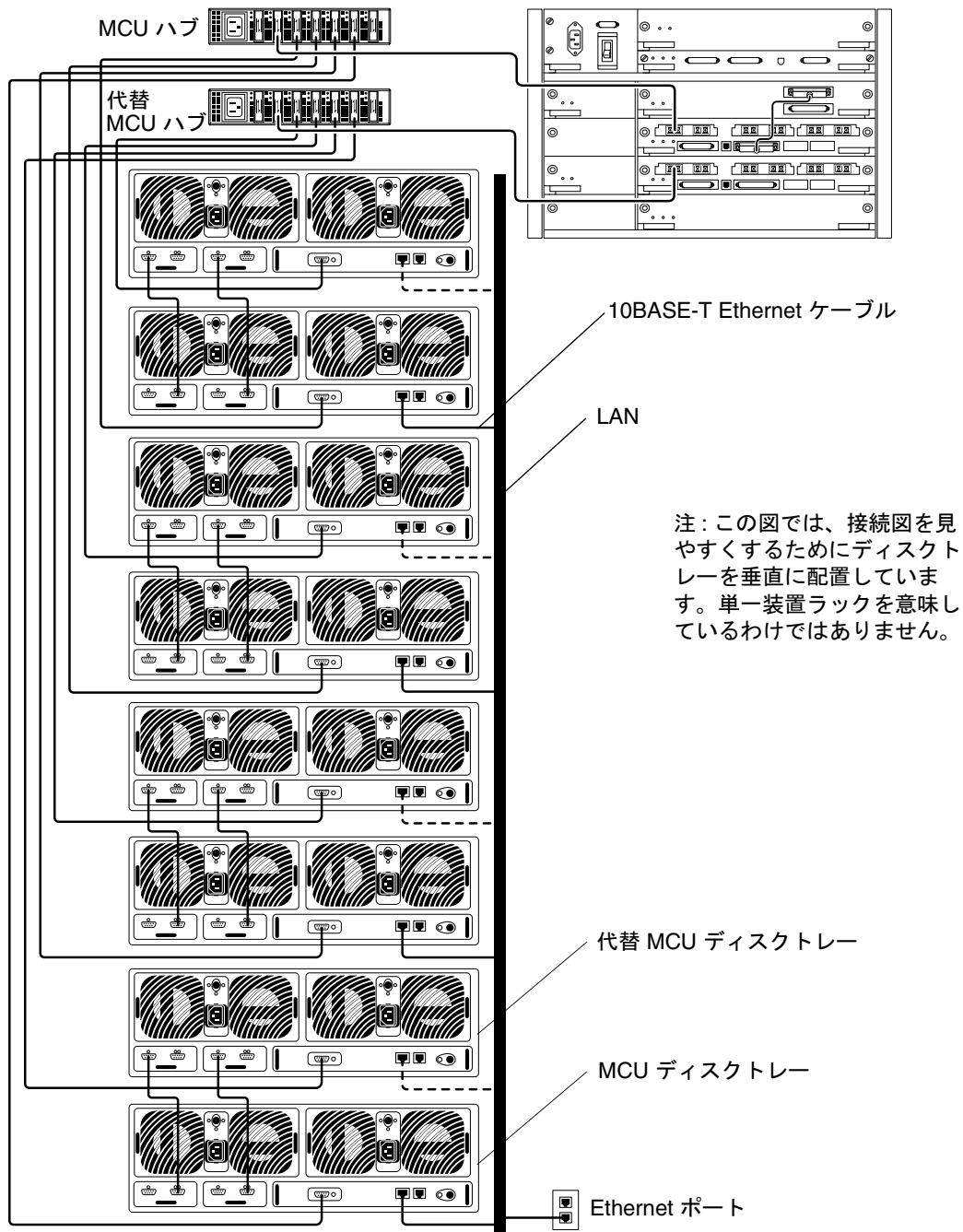


図 1 Sun StorEdge N8600 Filer の最小構成

システムのインストールについての注意

Sun StorEdge T3 ディスクトレイの LAN 接続の設定

Sun StorEdge T3 ディスクトレイ (以降「ディスクトレイ」とします) は、図 1 に示すように、ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続が可能です。LAN の接続を設定するには、次の手順を行なってください。

1. マスター制御装置 (MCU) のディスクトレイの背面にある、コンソールポート (図 2 参照) に、端末 (モニターおよびキーボード) を接続します。

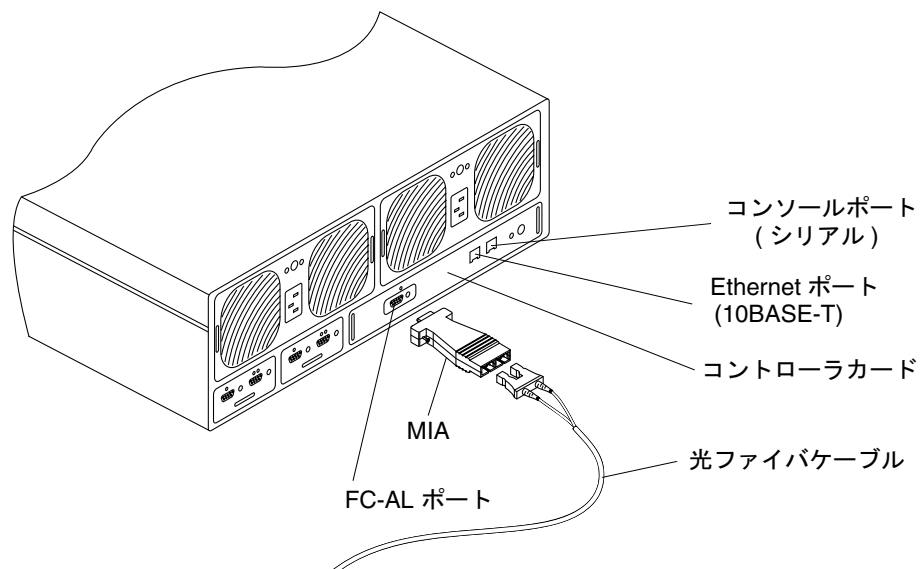


図 2 ディスクトレイの背面パネルの詳細

注 - ディスクトレイは、マスター制御装置 (MCU) のディスクトレイと代替 MCU ディスクトレイから成るパートナーグループで構成されます。MCU は、図 3 に示すように、パートナーグループの下部のユニットです。

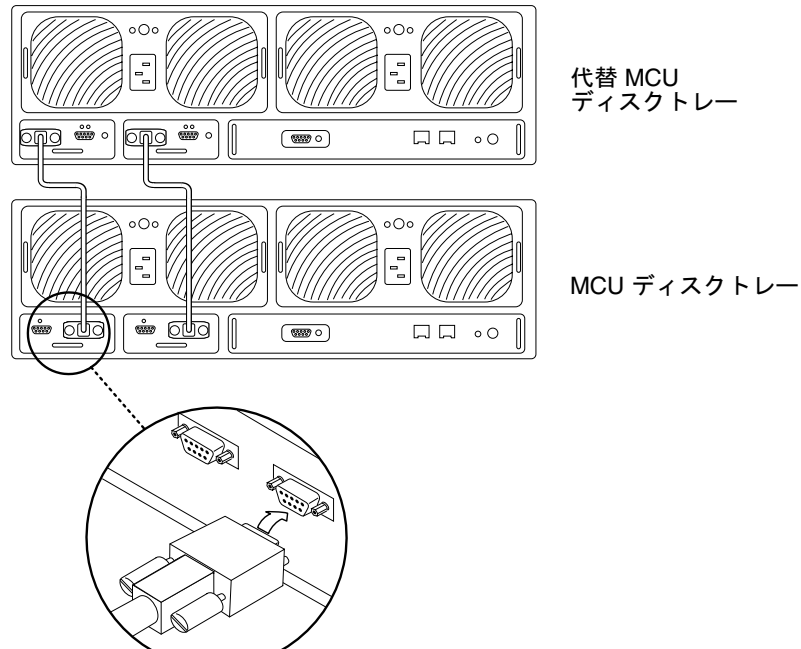


図 3 下部に MCU ディスクトレイが設置されたディスクトレイパートナーグループ

この接続を使用する場合、10 ページの手順 2 に進んでください。また、次のいずれかの方法で MCU ディスクトレイを接続することもできます。

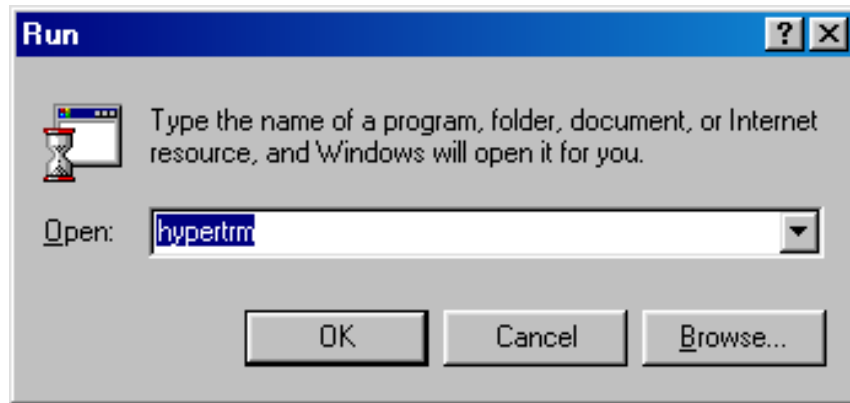
tip サーバー

ディスクトレイのコンソールポートと tip サーバーを接続します。別のワークステーションから、tip サーバーへの telnet セッションを開き、ディスクトレイに対応するポート番号を選択します。10 ページの手順 2 に進みます。

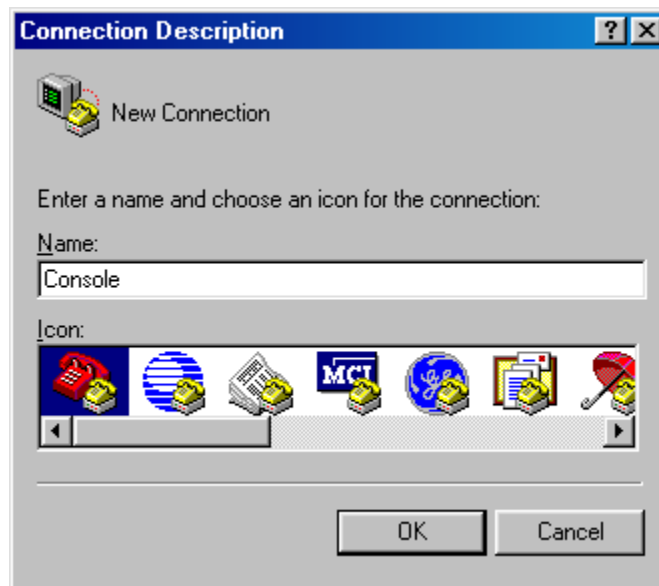
ラップトップコンピュータ

RJ-3 コネクタを使用して、ディスクトレイのコンソールポートに標準規格の電話回線を接続します。もう一方の端を適切なアダプタに接続して、ラップトップ PC のシリアルポートに接続します。次の手順を行い、hyperterm 接続を設定します。

- a. 「Start」 → 「Run」 を選択します。
「Run」 ダイアログボックスが表示されます。



- b. hypertrm と入力し、「OK」をクリックします。
「Connection Description」 ダイアログボックスが表示されます。



- c. 接続名を入力し、「connection」アイコンを選択し、「OK」をクリックします。
「Connect To」ダイアログボックスが表示されます。



- d. Filer への接続に使用する COM ポートを選択し、「OK」をクリックします。
「COM1 (または COM2) Properties」ダイアログボックスが表示されます。

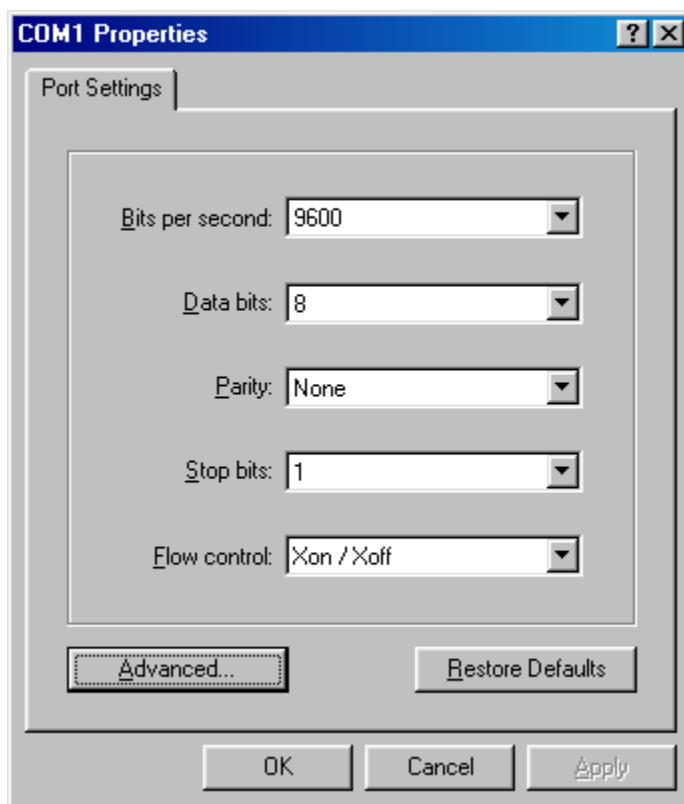


図 4 Microsoft Windows™ の「COM1 Properties」ダイアログボックス

- e. 図 4 に示したようにパラメータを選択し、「OK」をクリックします。
新しいウィンドウが表示されます。
- f. Enter キーを押すと、ディストレーのコマンド行インタフェース (CLI)、または
ディストレーの CLI にアクセスするためのログインダイアログボックスが表示さ
れます。
ログインダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名およびパスワードを
入力します。

2. `set ip` コマンドを使用して、IP アドレスを設定します。

これにより、ディスクトレイとの基本的な Ethernet 接続が可能になります。たとえば、次のように入力します。

```
# t300name:/:<n> set ip 129.150.47.86
```

注 - <n> には、個々のセッションに対して、システムが生成したコマンド数が入ります。

3. `set gateway` コマンドを使用して、ゲートウェイのアドレスを設定します。

これにより、サブネットの外にあるディスクトレイへのアクセスが可能になります。たとえば、次のように入力します。

```
# t300name:/:<n> set gateway 129.150.47.1
```

4. `set netmask` コマンドを使用して、ネットマスクを設定します。

このネットマスクには、IP サブネッティングを実装するために使用するネットワークマスクを指定します。たとえば、次のように入力します。

```
# t300name:/:<n> set netmask 255.255.255.0
```

これにより、ディスクトレイの接続が確立されます。

5. 次のように入力して、ディスクトレイを再起動します。

```
# t300name:/:<n> sync
# t300name:/:<n> reset
Reset the system, are you sure?[N]:Y
```

6. MCU ディスクトレイに接続し、各ディスクトレイパートナーグループで、手順 1 ~ 5 までを繰り返します。

これで、LAN の設定は完了です。

監視用のディスクトレイの設定

1. 5 ページの「Sun StorEdge T3 ディスクトレイの LAN 接続の設定」で説明した方法で、LAN を設定します。
2. 必要に応じて、ディスクトレイのコマンド行インタフェース (CLI) にアクセスします。
3. `set hostname` コマンドを使用して、ディスクトレイのホスト名を設定します。

```
# t300name:/:<n> set hostname hostname
```

注 - <n> には、個々のセッションに対して、システムが生成したコマンド数が入りません。

4. ディスクトレイの `local/syslog` を使用不可にし、`set logto` コマンドを使用して SNMP に切り替えます。

```
# t300name:/:<n> set logto *
```

5. ディスクトレイへの `ftp` 接続を使用可能にするには、`passwd` コマンドを使用して、スーパーユーザーのパスワードを設定します。

```
# t300name:/:<n> passwd
# t300name:/:<n> [old] password
# t300name:/:<n> [new] password
# t300name:/:<n> [new] password
```

6. サーバーのテキストエディタを使用して、`/tmp` ディレクトリの `syslog.conf` ファイルを作成します。ファイルは、次のエントリを含んでいます。

```
*.info @hostname
```

`hostname` には、サーバーの名前を指定します。

注 - これにより、情報および通知、警告、エラーメッセージが、ディスクトレイからサーバーに渡されます。

7. 次のようにサーバーのテキストエディタを使用して、/tmp ディレクトリの hosts ファイルを作成します。

```
# t300name:/:<n> IPaddress hostname
```

IPaddress および hostname には、サーバーの IP アドレスおよび名前を指定します。

8. サーバーからディスクトレイの IP アドレスに、ftp セッションを開始します。
9. ディスクトレイの /etc ディレクトリに、(前述の手順 6 および手順 7 で作成した) syslog.conf および hosts ファイルを置きます。

次の例を参照してください。

```
# ftp 192.xxx.xxx.xxx
Name (192.xxx.xxx.xxx:root):
331 Password required for root
Password:
230 User root logged in
ftp> cd /etc
250 CWD command successful
ftp> lcd /tmp
local directory now /tmp
ftp> put syslog.conf
200 PORT command successful
150 ASCII data connection for syslog.conf (129.138.210.77,34511)
226 Transfer complete
local: syslog.conf remote: syslog.conf
20 bytes sent in 0.00021 seconds (94.81 Kbytes/s)
ftp> put hosts
200 PORT command successful
150 ASCII data connection for hosts (129.138.210.77,34513)
226 Transfer complete
local: hosts remote: hosts
23 bytes sent in 0.00045 seconds (49.47 Kbytes/s)
ftp> quit
```

10. 次のように入力して、ディスクトレイを再起動します。

```
# t300:/etc:<n> sync
# t300:/etc:<n> reset
Reset the system, are you sure? [N]: Y
```

11. MCU ディスクトレイに接続し、各ディスクトレイパートナーグループで、手順 3 ~ 10 までを繰り返します。
12. サーバーまたは SNMP デーモンを再起動します。
SNMP デーモンを再起動するには、次のように入力します。

```
# /etc/rc2.d/K07snmpdx stop  
# /etc/rc2.d/K07snmpdx start
```

これで、監視用のディスクトレイの設定は完了です。

正誤表

Sun StorEdge Component Manager

今後、Sun StorEdge Component Manager は、製品とともに出荷されません。すべてのマニュアルで、Component Manager に関する記述はすべて無視してください。

『Sun StorEdge N8600 Filer インストール・設定・保守マニュアル』の「設定と監視オプション」にある「グラフィカルユーザーインターフェース (GUI)」の節全体を削除してください。

netstat コマンド

『Sun StorEdge N8400/N8600 管理者マニュアル』の第 4 章にある netstat コマンドの記述に誤りがあります。

-r オプションの正しい機能は、次のとおりです。

ルーティングテーブルを表示します。通常、インターフェースおよびホスト、ネットワーク、デフォルトのルートだけが表示されます。-a オプションと組み合わせて使用すると、キャッシュを含むすべてのルートが出力されます。

